



千地申14号

## 「電気部門の変革2022」を通じて「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある電気職場を創る申し入れ 団体交渉を行う！②



5. 異動および出向にあたっては、面談で本人希望、家庭の事情、通勤事情等を把握し最大限尊重すること。なお、組合員の出向期間は原則として3年以内とすること。また、異動および出向する場合の制服やロッカー等の準備には万全を期すこと。

【回答】異動については、任用の基準に則り取り扱うこととなる。

【確認事項】

- ・異動および出向については、必ずしも希望どおりとはならないが、家庭事情や通勤事情を把握し最大限尊重していく。
- ・社員の希望は、秋の定期面談での結果をベースに、管理者が丁寧にコミュニケーションを図り掴んでいく。無理に同意を求めるようなコミュニケーションは行わない。
- ・組合員の出向は「労働条件に関する協約」に基づく。（原則として3年以内）。
- ・異動および出向する場合の制服やロッカー等の準備には万全を期していく。



6. 設備管理システムの諸元データおよび関係図面の整備を最重要課題として優先的に取り組むため、各技術センターに諸元管理・図面管理の専門科を設置し、データ整備担当者を増配置すること。もしくは、諸元管理はメンテナンスセンターにて行うこと。

【回答】移管エリアについては、パートナー会社で入力し、メンテナンスセンターで確認する。なお、本施策にあわせて、移管エリア以外の諸元入力は基本的にメンテナンスセンターで行う考えである。

【確認事項】

- ・諸元入力は、移管エリアはP社が入力し管理メセで確認。移管エリア以外はメセが入力する。
  - ・入力後の管理は、技セで行う。
  - ・千葉電力技セのシステム科に一名増員を行う。（入力後の管理だけではなく、他業務も兼務）
- ※信号および通信においては、増員はない。（対立）

7. 銚子・館山メンテナンスセンターを統廃合箇所とした根拠を明らかにすること。

【回答】今回メンテナンスセンターの業務の一部をパートナー会社に移管するのは、東京100km圏内を除いた線区である。

【確認事項】

- ・東京100km圏外であることや、列車本数等を勘案して選定した。
- ・ボンドの銅テル化（銅テルミット溶接）を線区毎に進めており、年3回のボンド点検を年1回に削減できる。これらを移管エリアをはじめとする各線区の業務量減に繋げていく。（銅テル化は東金線と内房線君津以南で完了）



8. 保線部門等との調整等を効率的に行うため、信号・電力ともに、メンテナンスセンターの境界を勝浦ではなく安房鴨川に設定すること。なお、勝浦～安房鴨川間の管理メンテナンスセンターは茂原信号メンテナンスセンターおよび一ノ宮電力メンテナンスセンターとすること。

【回答】本施策では、境界の変更は考えていない。

【確認事項】

- ・本施策では境界の変更は考えていない。これまで通り、今後も必要により検討していく。